



NPO 法人・ACT小平

らいふえいど通信 26 号

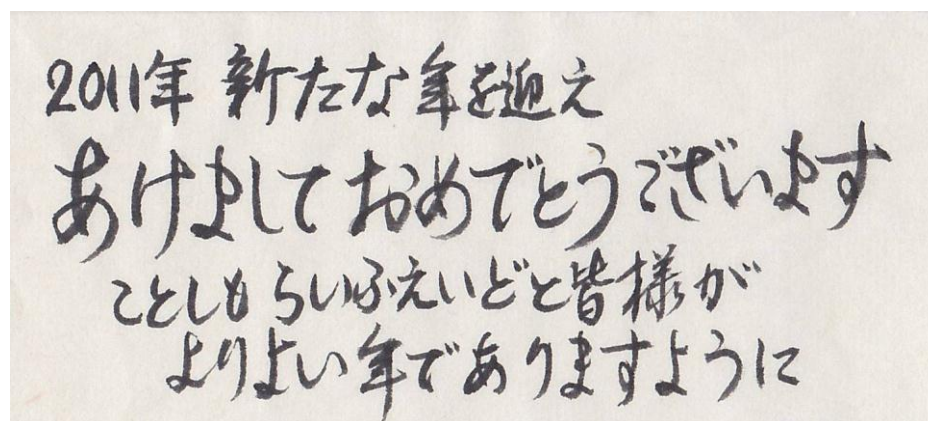
〒187-0034

2011 年 1 月 1 日発行

小平市学園東町 2-4-16-102

Tel. 042-348-0376

発行責任者 黒澤 桃枝



街路樹の葉も落ち、霜柱のぬかるみや北風の中、師走の慌ただしさもいつの間にか過ぎ、らいふえいども 14 年目を迎えようとしています。

設立時に皆で掲げた想いは、老いても障がいを持って、病気をしても、小さな子供を抱えても、自分らしく地域で自立した生活を実現していきたいということでした。

2000 年には介護保険に参入しNPO法人格を所得し、介護保険・障がい福祉サービスを提供してきました。私達が住みなれた地域で暮らしていく為に介護保険事業を行ってききましたが、国の方針が利用者本位から少しづつかけ離れてきたように思います。制度が変わる度に「これでいいのか！いまのままでいいのか！」ジレンマを抱えながら日々の忙しさにまぎれ、つい流されていたように思います。

今回の法改正は今まで以上に大きなサービス内容の変更が予想されます。2011 年はこれからのらいふえいどの事業展開を考え、移行していく 1 年になっていく年と重く受け止めています。

去年は地域の中で多様な活動を行ってきました。慣れない研修講師や講話講師もさせていただき自分自身も改めて地域活動の大切さと責任を実感させられました。

自分たちがこれからの人生をどの様に自立し、豊かに暮らす為に環境整備をどうしていくか、メンバーとの話し合い進めていきたいと考えています。

年頭にあたり今後とも皆様のご意見、お力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

代表 黒澤桃枝

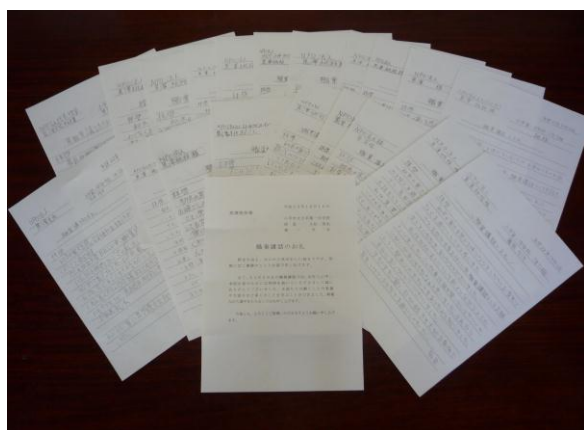
らいふえいども頑張っています

今年度活動方針にもとづいて、新理事も各担当に加わり、ケアを主にしながらに、地域との交流、イベント、各種研修へと精力的に取り組んでいます。折々の理事会、毎月の定例会での討議、確認からホームページの更新、議長団の打ち合わせ、新年会の企画、らいふえいど通信の発行等、各分野でもそれぞれに活動しています。

9月には中長期プロジェクトの立ち上げに向けて、メンバー募集の声かけも担当理事を中心にはじまりました。小糸さんが座長に決まり、12月21日には会議もスタートしました。

又、代表が全メンバーとの個人面談を実施して、11月一杯ですませました。この対話は今後の活動にも生かせる成果でした。

11月29日には小平第一中学校で『働くこと、NPOって何？この仕事で楽しいこと』等について黒沢代表が講話をしてきました。校長先生、受講した生徒達から、介護の仕事の事等に対する感想、お礼状が届き、少しでも私達の仕事を理解してもらえるよい機会でした。



お礼状には、中学一年生ならではの介護の実態を知った驚きや、自分もこれらに関心を持った事等が書かれていました。

地域生活支援センターあさやけが実施した

『精神障害者ホームヘルパー養成研修会』

9月の3日間 元気村にて開催されました。

日頃、精神障害者の家事援助に入っているメンバーを主に多数が参加して、精神障害者に対するホームヘルプについて学びました。市の福祉課、保健所、福祉センターの講師の話に当事者や、らいふえいどヘルパーのケア中の事例映像もあり、利用者さんの生活も伝わり、勉強になったと10月の定例会で話題になりました。

ひろげよう市民の わ 輪っ わあ 和

NOPフェスタ in 元気村 2010

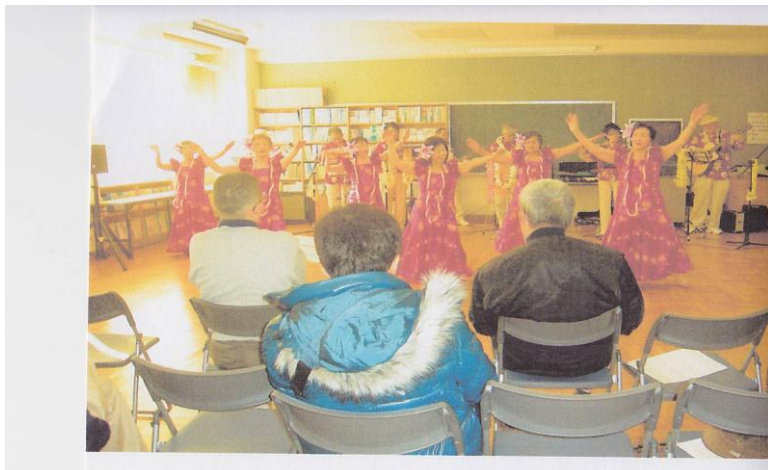
今年はとん汁販売で参加しました。

快晴の10月24日(日)に小平元気村おがわ東で開催。
市民活動について市民の方々に広く知ってもらおう場としてのフェスタに、らいふえいども中田リーダーを中心に多数のメンバーが参加して、とん汁販売をしました。
短時間の打ち合わせながら、当日は早くから各自が分担して持ち寄った材料を大鍋で煮込んで、ポスター、のれん、らいふえいどの旗も立て、会場作りもできました。昼食時には行列ができるほどの大繁盛で、1時間余りで200名分のとん汁は売り切れ、作ったメンバーの口に入らないほどでしたが、「おいしかった！」のことに疲れも忘れ、チームワークのすばらしさを実感できました。



♪♪ 喫茶らいふえいど ♪♪

ハワイアンバンドの軽快なリズムにのって、熟女フラダンサーの踊りとメンバーの手作りおやつで一服しながら、今回は元気村の精神障害者を主にしたサロンになりました。出席してくれた利用者さんも接待にあたったメンバーも一緒に手拍子をしながら歌ったり、談笑したりの楽しいひと時になったと思います。賛助出演してくれたバンドのソリストは、メンバーの生井さんで、美声が一段とさえていました。



らいふえいどの活動に共感して新しい仲間ができました。

研修もばっちりすませ、即戦力となり各ケアで活躍しています。フレッシュな声が大きな和になりますように。

4月からメンバーになりました。9か月経った現在ではケアに入る時間も少しずつ増え、楽しく仕事をしています。

これまでには、講習会に参加して学習したり、メンバーによる研修で実技を学んだりしてきました。これらはとても有意義でして、利用者を理解するのに役立ち仕事をするうえで自信となりました。

定例会では真摯な意見が飛び交い、議論しあうメンバーを目の当たりにして、雇われて働くのではないワーカーズの一員となったことをひしと感じています。

微力ながら頑張りますのでよろしくお願いいたします。

(出口 芳子)

2010年、7月からメンバーになりました。

“経験なし、資格なし”、とないないづくしで申し訳ないのですが、手が必要なところの力になりたい！…と気持ちだけは強くもっています。

今はエネルギー溢れるらいふえいどの皆さんと利用者さんから学ばせて頂いているありがたい毎日です。利用者の気持ちに寄り添ったケアを心がけたいと思っています。

好きなことは、山を歩いて温泉でホッとすること。おすすめの温泉があったら教えてください。

どうぞよろしくお願いいたします。

(色摩 佳奈江)

はじめまして。わたしがらいふえいどに興味をもったのは、地域支援センターあさやけさん主催“精神障害者ホームヘルパー養成研修会”に参加したからです。そこでらいふえいど代表、黒澤桃枝さんのお話を聞き、さらにビデオで実際にヘルパーさんが(後で山田さんと知りました)利用者さんに料理指導している様子を拝見しました。たんたん“冷やし中華”の作り方を教える。文字で書くとこれだけですが、そのビデオにはいろいろな事が映っていました。見終わると、定員30名に40名集まったヘルパーさんから自然に大きな拍手が。利用者さんに、過不足なく丁寧に接している雰囲気みなさんに伝わったのだと思います。

事業所の代表である黒澤さんが自転車で現場を走り回っている姿(というか、らいふえいどの体質ですね)も共感。親しみを感じます。在宅ヘルパー。この奥の深そうな仕事をはじめたばかりのわたしです。よろしくお願いいたします。

(前田 安子)

編集後記

暑くて長い昨夏でしたが、ケアの仕事は休みなく続きました。これをやりとげられたのも、サ責、コーディネーターの努力とメンバーの絆でしょうか。行政の方針もきびしい状況になってきていますが、私共は、助け合いながら住み慣れた地で暮らしていけるような地域作りを広げる活動をひとつずつやってこられました。

新しい年を迎え、健康管理をしながら、お互いが出来るところから参加して、ぴよんぴよん跳ねることができる年にしたいです。ご協力をお願いします。(黒澤・塩野・渡辺・林)